様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
音楽専門課程 (2年制)	管弦打楽器学科	夜・通信	4,290 時間	80×2 = 160 時間	
	ジャズ・ポピュラー学科	夜・通信	1,860 時間	80×2 = 160 時間	
	ヴォーカル学科	夜・通信	2,040 時間	80×2 = 160 時間	
	プロミュージシャン学科	夜・通信	3,420 時間	80×2 = 160 時間	
	アレンジ・作曲学科	夜・通信	3,720 時間	80×2 = 160 時間	
	ミュージカル学科	夜・通信	1,800 時間	80×2 = 160 時間	
	ダンス学科	夜・通信	1,860 時間	80×2 = 160 時間	
	声優学科	夜・通信	1,770 時間	80×2 = 160 時間	
	音響・映像・照明学科	夜・通信	2,970 時間	80×2 = 160 時間	
	ミュージックビジネス学科	夜・通信	2,400 時間	80×2 = 160 時間	

音楽専門課程 (4年制)	音楽総合アカデミー学科 ヴォーカルコース	夜・ 通信	5,082 時間	80×4 = 320 時間	
	音楽総合アカデミー学科 ピアノコース	夜・ 通信	5,682 時間	80×4 = 320 時間	
	音楽総合アカデミー学科 電子オルガンコース	夜・ 通信	5,382 時間	80×4 = 320 時間	
	音楽総合アカデミー学科 管弦打楽器コース	夜・ 通信	5,202 時間	80×4 = 320 時間	
	音楽総合アカデミー学科 ジャズ・ポピュラーコース	夜・ 通信	4,782 時間	80×4 = 320 時間	
	音楽総合アカデミー学科 アレンジ・作曲コース	夜・ 通信	5,082 時間	80×4 = 320 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「カリキュラム（授業科目一覧）」は、学校公式ウェブサイトにて公表、「実務経験のある教員等による授業科目」は、カリキュラム表内の○印で明示している。各担当講師の実務経歴は、「シラバス」内「担当科目に関連する実務経歴」に記載している。学校公式ウェブサイトの URL は、「カリキュラム（授業科目一覧）」、「シラバス」とも <https://www.shobi.ac.jp/about/info/> である。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人尚美学園公式ウェブサイトにて役員名簿を公表している。
<http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和7年5月28日～ 選任後4年以内に終了する 会計年度のうち最終のもの に関する定時評議員会の終 結の時まで	学校運営担当
非常勤	大学教授	令和7年5月28日～ 選任後4年以内に終了する 会計年度のうち最終のもの に関する定時評議員会の終 結の時まで	学校運営担当
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 すべての授業科目について、学科別の成績会議を年間2回のセメスター末に実施し、授業内容、指導内容、試験、成績について確認を行っている。また、毎年度10月に学生による授業評価を実施し、その結果を授業担当者にフィードバックし、授業内容の改善、教育効果の向上を図っている。 毎年度1月に翌年度の授業科目についての担当依頼を行っており、担当依頼と同時に学内統一書式によるシラバス作成を併せて依頼している。シラバスには科目名、担当者名、授業形態、科目概要、毎回の授業計画、期末試験内容、評価の方法、担当科目に関連する実務経歴などを記載することとしている。</p> <p>【公開時期について】 毎年度2月中旬に各担当者から提出されたシラバスについて、各学科・部門、学務担当教員、学校長によるチェックを行ったうえで、新年度開始時(新年度オリエンテーション)までに学校公式ウェブサイト上に公開されているよう作業を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「シラバス」
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「学務規定」を学校公式ウェブサイト情報公開ページの「学則・規程」内に掲載し、試験、成績評価、履修、進級・卒業要件について明示している。 また、教職員および学生全員に配付する「学生要綱」に「期末試験と成績・評価」「公認追試験・追試験・再試験」「履修認定と進級・卒業」などの細目の解説を掲載し具体的に説明している。この内容も学校公式ウェブサイト情報公開ページの「授業・履修について」(学生要綱抜粋)内で公開している。 情報公開ページのURLは、https://www.shobi.ac.jp/about/info/ である。</p> <p>(参考) 冊子「学生要綱2025」6頁「期末試験と成績・評価」記載内容 各クォーター末には、科目毎に小テストや試験などにより学習成果の確認が行われ、これらの結果、出席状況、平常点などを総合して、セメスター毎に成績が算出され、評価が行われます。なお、評価を受けるにはセメスターを基準に3分の2以上の出席をしていること、その学期までの学費を納入していることが必要です。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については学生要綱「期末試験と成績・評価」に以下のとおり記載・公表している。併せて、学校公式ウェブサイト情報公開ページの「授業・履修について」(学生要綱抜粋)内で公開している。</p> <p>(参考) 冊子「学生要綱 2025」 6頁「期末試験と成績・評価」記載事項 セメスター毎の成績(評点)は100点満点で算出され、評点に対応した5段階の評価が行われます。</p> <p>評点と評価は以下のように対応し、D評価は不合格となります。 SA=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=60~69点、D=59点以下 成績の通知はセメスター毎に行われ、担任から成績表が配付されます。</p> <p>なお、本学では音楽・エンタテインメントという分野の特性上、授業成績の順位などを個々の学生には伝えていないが、各科目の担当教員は期末試験報告時に得点分布を報告し、担任、学科は成績管理システム(Campus Plan)から出力された情報により、学生指導や奨学生の採否の根拠となる学科クラス内の成績分布や個々の学生のGPA・成績順位を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>掲載：学生要綱 2025 6頁「期末試験と成績・評価」 掲載：https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「授業・履修について」</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学は音楽表現、パフォーマンス、エンタテインメント業界で活躍するプロフェッショナルを育成し、社会に貢献するとともに自分らしい生き方を確立することを目的とする。</p> <p>上記教育の方針については「智と愛」という建学の精神とともに、入学時に配付する学科毎の在学の手引きである「STUDENT HANDBOOK」巻頭に共通記載され、卒業および進級の認定については、全学共通に配付される学生要綱に明記し公表している。</p> <p>(参考) 冊子「学生要綱 2025」 7頁「履修認定と進級・卒業」 SA、A、B、Cの評価を得た科目は、履修が認定されます。必修科目、選択必修科目のうち履修を必要とする数の科目に合格することで、次学年への進級、あるいは卒業が認定されます。</p> <p>必修科目の未履修があると、卒業が認定されません。(中略) また、進級には所定の科目の3分の2以上の履修が必要です。これに満たない場合は(中略)留年となり、全科目を再度履修しなければなりません。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>掲載：学生要綱 2025 7頁「履修認定と進級・卒業」 掲載：https://www.shobi.ac.jp/about/info/ 「授業・履修について」</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 尚美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報を学校法人尚美学園公式ウェブサイトにて公表している。 http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	音楽専門課程	管弦打楽器学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	210 単位時間/単位	3,480 単位時間/単位	510 単位時間/単位	単位時間/単位	120 単位時間/単位
			4,320 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	66人	1人	4人	44人	48人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	4 人 (21.1%)	12 人 (63.2%)	3 人 (15.8%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>演奏家、公務員音楽隊、楽団員、指導者（吹奏楽、マーチング、音楽教室、教員）、作編曲家、音楽・エンタテインメント関連企業等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>日本マーチングバンド協会マーチングバンド指導者ライセンス 2 級・3 級、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会吹奏楽検定 3 級、他</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	8 人	16.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、健康上の理由、経済的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	ジャズ・ポピュラー 学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,710 単位時間/単位	210 単位時間/7単位	1,560 単位時間/7単位	90 単位時間/7単位	120 単位時間/7単位
			1,980 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	48人	11人	2人	19人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	4人 (19.0%)	10人 (47.6%)	7人 (33.3%)
（主な就職、業界等） プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、テーマパーク、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
（就職指導内容） 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 各種オーディション合格、学外演奏活動、他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	1 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	ヴォーカル学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2 年	昼	1,710 単位時間/単位	90 単位時間/単位	1,710 単位時間/単位	240 単位時間/単位	120 単位時間/単位
			2,160 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人	77 人	5 人	2 人	25 人	27 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	5人 (11.6%)	10人 (23.3%)	28人 (65.1%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、劇団、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、学外演奏活動、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93人	12人	12.9%
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失、健康上の理由、進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	プロミュージシャン 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	90 単位時間/単位	3,240 単位時間/単位	90 単位時間/単位	単位時間/単位	120 単位時間/単位
			3,540 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		143人	11人	3人	37人	40人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、その他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70人 (100%)	3人 (4.3%)	19人 (27.1%)	48人 (68.6%)
（主な就職、業界等） プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
（就職指導内容） 学内開催オーディション（企業招聘）、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
148人	17人	11.5%
（中途退学の主な理由） 勉学意欲喪失、健康上の理由、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	アレンジ・作曲学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,725 単位時間/単位	165 単位時間/単位	3,480 単位時間/単位	90 単位時間/単位	単位時間/単位	120 単位時間/単位
			3,855 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		195人	31人	4人	34人	38人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
74人 (100%)	11人 (14.9%)	15人 (20.3%)	48人 (64.9%)
(主な就職、業界等) 作曲家・編曲家・プレイヤー(就職、事務所所属、フリーランス)、映像制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			

(就職指導内容) 学内開催オーディション(企業招聘)、就職講座、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、他
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
172人	19人	11.0%
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失、進路変更、健康上の理由、経済的理由、		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		音楽専門課程	ミュージカル学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,710 単位時間/単位	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼		1,710 単位時間/単位	90 単位時間/単位	120 単位時間/単位	1,920 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	42人	1人	2人	10人	12人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
--

成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	4人 (26.7%)	11人 (73.3%)
(主な就職、業界等) 劇団、商業演劇、テーマパーク、音楽・エンタテインメント関連企業、舞台制作関連企業、音楽系ショップ、音楽教室、ダンス教室			
(就職指導内容) 学内開催オーディション（企業招聘）、キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、マナー・コミュニケーション講座、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学なし		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	ダンス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	120 単位時間/単位	1,740 単位時間/単位	90 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,950 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		30人	1人	2人	10人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

半期全授業 15 回のうち、7 回目に中間試験、15 回目に期末試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間 2 回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	17人 (100%)
(主な就職、業界等) ダンサー（事務所所属、テーマパーク、フリーランス）、音楽・エンタテインメント 関連企業、舞台制作関連企業、音楽系ショップ、ダンス教室			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求 人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 各種オーディション合格、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	2人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、勉学意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による 年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安 や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡を とりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や 各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿う よう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス 担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理 由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	120 単位時間/単位	1,680 単位時間/単位	90 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,890 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	42人	0人	2人	14人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	5人 (18.5%)	22人 (81.5%)
(主な就職、業界等) 声優、俳優、劇団、養成所、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 各種オーディション合格、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) 、他
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	6 人	11.8%
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失、健康上の理由、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音響・映像・照明学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,740 単位時間/単位	960 単位時間/単位	1,860 単位時間/単位	270 単位時間/単位	単位時間/単位	
			3,090 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200 人	115 人	2 人	4 人	19 人	23 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77人 (100%)	0人 (0%)	67人 (87.0%)	10人 (13.0%)
(主な就職、業界等) 映像関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 舞台機構調整技能士、ドローン検定協会無人航空従事者試験、日本音楽スタジオ協会Pro Tools技術認定試験、日本照明家協会舞台・テレビジョン照明技術者技能認定、日本ポストプロダクション協会映像音響処理技術者、ビジネス著作権検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
136人	13人	9.6%
(中途退学の主な理由) 勉学意欲喪失、健康上の問題、進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	ミュージックビジネス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,725 単位時間/単位	300 単位時間/単位	2,100 単位時間/単位	90 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,490 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		102人	1人	4人	19人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
59人 (100%)	1人 (1.7%)	49人 (83.1%)	10人 (13.0%)
（主な就職、業界等） 音楽・エンタテインメント関連企業、映像関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会、インターン指導・支援等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、エンターズ SNS スペシャリスト認定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	6人	5.0%
（中途退学の主な理由） 健康上の理由、経済的理由、勉学意欲喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学 科ヴォーカルコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,417 単位時間/単位	990 単位時間/単位	3,750 単位時間/単位	495 単位時間/単位	312 単位時間/単位	
			5,547 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人(学科)		15人	2人	4人(学科)	33人(学科)	37人(学科)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	5人 (71.4%)	2人 (28.6%)
(主な就職、業界等) プレイヤー(事務所所属、フリーランス)、講師(楽器店、音楽教室、フリー)、劇団、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) 、他 (学科全体)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	4 人	17.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、勉学意欲喪失、健康上の問題、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科ピアノコース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,417 単位時間/単位	990 単位時間/単位	4,350 単位時間/単位	495 単位時間/単位	単位時間/単位	312 単位時間/単位
	夜		6,147 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人(学科)		8 人	0 人	4 人(学科)	33 人(学科)	37 人(学科)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	1人 (20.0%)	2人 (40.0%)	2人 (40.0%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、ピアノ個人教室、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室、音楽・エンタテインメント関連企業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他（学科全体）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学なし		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科電子オルガンコース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,417 単位時間/単位	990 単位時間/7単位	4,050 単位時間/7単位	495 単位時間/7単位	単位時間/単位	312 単位時間/7単位
			5,847 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人(学科)		7人	0人	4人(学科)	33人(学科)	37人(学科)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、エレクトーン個人教室、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室、音楽・エンタテインメント関連企業等の就職、就業を想定しているが、前年度は卒業生がなかった。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他（学科全体）</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>中途退学なし</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学 科管弦打楽器コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,417 単位時間/単位	990 単位時間/単位	3,690 単位時間/単位	675 単位時間/単位	単位時間/単位	312 単位時間/単位
			5,667 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人(学科)		25人	0人	4人(学科)	33人(学科)	37人(学科)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	5人 (45.5%)	4人 (36.4%)	2人 (18.2%)
(主な就職、業界等) 演奏家、公務員音楽隊、楽団員、指導者(吹奏楽、マーチング、音楽教室、教員)、作編曲家、音楽・エンタテインメント関連企業等			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)、他(学科全体)
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	3人	8.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー学科ジャズ・ポピュラーコース		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,417 単位時間/単位	990 単位時間/7単位	3,090 単位時間/7単位	855 単位時間/7単位	単位時間/単位	312 単位時間/7単位
			5,247 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人(学科)		12人	2人	4人(学科)	33人(学科)	37人(学科)	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター（就業支援）、国際交流センター（留学生対応）、学生支援部演奏担当（学内外での音楽活動）、学校カウンセラー（匿名相談も可能な学生相談）などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	5人 (71.4%)	2人 (28.6%)
(主な就職、業界等) プレイヤー（事務所所属、フリーランス）、テーマパーク、講師（楽器店、音楽教室、フリー）、音楽・エンタテインメント関連企業、音楽系ショップ等			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他（学科全体）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	2人	12.5%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		

(中退防止・中退者支援のための取組)

学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年 2 回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音楽専門課程	音楽総合アカデミー 学科アレンジ・作曲 コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,447 単位時間/単位	1,005 単位時間/7単位	3,210 単位時間/7単位	1,035 単位時間/7単位	単位時間/単位	312 単位時間/7単位
			5,562 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人(学科)		28人	4人	4人(学科)	33人(学科)	37人(学科)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

(概要)

半期全授業15回のうち、7回目に中間試験、15回目に期末試験、この他、中間試験、期末試験後に実技に関する試験を設定し、内容の理解、修得状況について評価を行い、学生にフィードバックを行っている。年間2回の定期担任面談の他、随時、担任や学科長による相談を受け付け、キャリアセンター(就業支援)、国際交流センター(留学生対応)、学生支援部演奏担当(学内外での音楽活動)、学校カウンセラー(匿名相談も可能な学生相談)などで学修のサポート、指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	1人 (12.5%)	6人 (75.0%)
（主な就職、業界等） 作曲家・編曲家・プレイヤー（就職、事務所所属、フリーランス）、映像制作関連企業、音楽・エンタテインメント関連企業、音響・照明・舞台制作関連企業、音楽系ショップ、楽器店、音楽教室			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、応募書類作成指導、面接練習、メールによる希望分野の求人情報配信、進路/就職ガイダンス、学内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、知的財産管理技能検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）、他（学科全体）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	1人	4.3%
（中途退学の主な理由） 勉強意欲喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の出欠状況、学修状況はクラス担任が確認、把握している。クラス担任による年2回の個別学生面談のほか、毎週のクラスタイムやクラス授業等で修学上の不安や悩みごとの相談を受けている。学生の状況によっては、随時家族保証人とも連絡をとりあい情報共有している。学資の問題については教務課が窓口となり、学費分納や各種奨学金等の相談を受けている。学科や専攻の変更についても、本人の希望に沿うよう柔軟に対応している。退学希望の学生に対しても、退学後の状況についてクラス担任が十分な聞き取りを行い、必要なアドバイスを提供している。退学を希望する理由によっては、復学も選択肢にあることを説明している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記 載事項)
管弦打楽器学科	200,000 円	920,000 円	470,000 円	
ジャズ・ポピュラー学科	200,000 円	920,000 円	470,000 円	
ヴォーカル学科	200,000 円	870,000 円	370,000 円	
プロミュージシャン学科	200,000 円	870,000 円	370,000 円	
アレンジ・作曲学科	200,000 円	930,000 円	420,000 円	
ミュージカル学科	200,000 円	890,000 円	420,000 円	
ダンス学科	200,000 円	870,000 円	420,000 円	
声優学科	200,000 円	880,000 円	410,000 円	
音響・映像・照明学科	200,000 円	880,000 円	460,000 円	
ミュージックビジネス学科	200,000 円	890,000 円	410,000 円	
音楽総合アカデミー学科	200,000 円	850,000 円	390,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校公式ウェブサイトで公開している。 掲載： https://www.shobi.ac.jp/about/info/ (2024年度自己評価報告書 (PDF ファイル))</p>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本学では、学校関係者評価委員会規程に基づき学校関係者評価を実施している。委員会は本学在校生の保護者、本学卒業生、学校長から必要と認められた者から選出された委員から構成される。学校教職員は委員会事務局担当者として委員会に出席する。</p> <p>委員会では、前年度の教育活動及び学校運営の状況について、委員会事務局から提供された前年度分の自己評価報告書の内容を踏まえ、学校関係者評価委員としてのそれぞれの知見から意見を述べ、評価を行い、その結果をとりまとめ学校長に報告する。</p> <p>委員会から報告を受けた学校長は、教育活動ないし学校運営の改善に報告内容を活用すべく、関係の学内部署に対し、具体的改善方策の策定実施を遅滞なく指示している。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元公立中学校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日	本学卒業生
元公立中学校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日	本学卒業生
楽器店レスナー	令和7年4月1日～令和8年3月31日	本学卒業生
後援会役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日	本学在学学生保証人
後援会役員	令和7年4月1日～令和8年3月31日	本学在学学生保証人
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価結果を含む委員会議事録を学校公式ウェブサイトで公開している。 掲載： https://www.shobi.ac.jp/about/info/ (2025年度 学校関係者評価委員会議事録 (PDF ファイル))</p>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

尚美ミュージックカレッジ専門学校 公式ウェブサイト

<https://www.shobi.ac.jp/>

尚美ミュージックカレッジ専門学校 公式ウェブサイト 情報公開ページ

<https://www.shobi.ac.jp/about/info/>

学校法人尚美学園 公式ウェブサイト

<http://www.shobigakuen.ac.jp/>

学校法人尚美学園 公式ウェブサイト 尚美学園について

<http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310500050
学校名 (〇〇大学 等)	尚美ミュージックカレッジ専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 尚美学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		140 人 (-人)	123 人 (-人)	147 人 (-人)
内訳	第Ⅰ区分	80 人	75 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	31 人	32 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	28 人	12 人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	- 人	- 人	
区分外 (多子世帯)	0 人	0 人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 (0人)
合計 (年間)				147 人 (-人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	-人	0人	-人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-人	-人	-人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-人	0人	0人
計	-人	-人	-人
(備考)			
年間 出席率5割以下および修得単位数5割以下 音楽総合アカデミー学科ヴォーカルコース 1名			
年間 「警告」の区分に連続して該当 音楽総合アカデミー学科アレンジ・作曲コース 1名			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限り。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	-人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	27人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-人	-人	-人
計	-人	-人	38人
(備考) 年間 GPA等が下位4分の1および出席率が8割以下 音楽総合アカデミー学科 アレンジ・作曲コース 1名 (両条件該当)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。